

第4回

NGO海外安全セミナー

～事前準備と事件発生時の対応：グッドプラクティスの共有～

平成23年2月24日(木) 主催：外務省

■本日の予定

(12:40ー 受付開始)

13:00 開会 (進行:安東 義雄 外務省領事局邦人テロ対策室長)

開会挨拶 (山花 郁夫 外務大臣政務官)



山花外務大臣政務官

13:10 基調講演 (ケビン J・アレン氏 UNHCR駐日事務所 eCentreコーディネーター)

ー13:40

「The Security Environment for Humanitarian Workers: Current Challenges(仮)」

13:50ー パネルディスカッション第1部：緊急事態に備えた体制整備

報告1「組織としての安全管理」

(谷口誠 国際協力機構総務部安全管理室長報告)

報告2「NGOにおける危機への準備と対応への必要(仮)」

(山本理夏 ピース ウィンズ・ジャパン東京事務局事業責任者報告)

15:00

ー15:15

(休 憩)

15:15ー パネルディスカッション第2部：緊急事態発生時の対応体制

報告3「企業の危機に対する対応例」

(古賀賢次 日本在外企業協会海外安全アドバイザー報告)

報告4「NGOにおける危機への対応と今後の課題」

(名取 郁子 難民を助ける会事業部長報告)

16:30

閉会

※上記の時間はおおよその目安です。

■おねがい

1. 会場の規則により、喫煙は室外所定の場所をお願いします。室内での飲食も、ご遠慮いただいています。
2. 講演中、携帯電話機の着信音はマナーモードに設定ください。
3. 今後の業務改善の参考とさせていただくため、アンケート用紙を配布させていただいております。お手数ですが、ご協力いただけます場合は、内容をご確認いただいた上、退出時に係員にお渡しください。
4. 不明な点等ありましたら、近くの係員までお尋ねください。

講師紹介

基調講演

■ケビン J・アレン (Kevin J. Allen) UNHCR 駐日事務所 e C e n t r e コーディネーター



UNHCRや国連平和維持部隊の職員として、アフガニスタン、パキスタン、コソボ、ケニア・ソマリア国境地域、ラテンアメリカ諸国において様々なフィールド活動を行う。ワシントンの法律事務所(Williams & Connolly)で法廷弁護士の経験を持つほか、米海兵隊やピース・コー(米国際ボランティア機関)の経験も持つ。現在e C e n t r e業務を管理。e C e n t r eは、RedR等の支援団体と協力し、アジア地域の国内避難民支援団体の緊急事態への準備と対応能力を、主にキャパシティ・ビルディング(能力開発)活動、普及運動、ネットワーク拡大という手法を通じて、促進している。

UNHCR(<http://www.unhcr.or.jp/>)

パネルディスカッション

■谷口 誠(たにぐち まこと) 国際協力機構 総務部安全管理室長



関西大法卒。大阪府警察(警備部)から警察庁(生活安全局)を経て、1996年にJICA入構。在チリ日本国大使館(出向)、JICA/パナマ事務所、JICAペルー事務所、青年海外協力隊事務局、中部国際センター(名古屋)を歴任。JICAでは、主に危機管理、国民参加事業、中南米地域の技術援助に従事。2002年のアフガニスタン事務所の立ち上げにも携わる。2010年11月から現職。

国際協力機構(<http://www.jica.go.jp/>)

■名取 郁子(なとり いくこ) 認定NPO法人 難民を助ける会 海外事業部長



大学卒業後、民間企業勤務を経て、1998年モザンビークにてNGOに所属しボランティア活動。2001年英国サセックス大学IDS開発学研究所開発学修士課程修了後、内戦中から内戦後のアンゴラにおいて国連ユニセフ事務所勤務(JPO)。シェア(日本NGO)東ティモール事務所、難民を助ける会アンゴラ事務所、同会南部スーダン事務所駐在代表を経て、2010年8月より現職。難民を助ける会は、現在、アフガニスタンやスーダンなど紛争中あるいは紛争終結後間もない国を含む全14カ国において、緊急支援・障害者支援・地雷対策・感染症対策、また日本国内では啓発活動にも取り組んでいる。

難民を助ける会(<http://www.aar-japan.gr.jp/>)

■山本 理夏(やまもと りか) NPO法人 ピース ウィンズ・ジャパン東京事務局事業責任者



大学卒業後、米国の大学院で国際関係学・国際政治学を学ぶ。1994年よりNGOや国連ボランティアとしてアフリカやコソボで難民支援に携わる。2000年にピース ウィンズ・ジャパンに入り、シエラレオネ、リベリア、アフガニスタン、イラク、スーダン南部など紛争地における人道支援や、スマトラ地震・津波、パキスタン地震、ミャンマーサイクロン、ハイチ地震などの自然災害の緊急支援に関わる。海外での支援経験を活かし、国内でも新潟県中越地震や中越沖地震で被災地入りしている。

ピース ウィンズ・ジャパン(<http://www.peace-winds.org/index.html>)

■古賀賢次(こが けんじ) 日本在外企業協会海外安全アドバイザー(前パナソニック海外安全対策室長)



1973年松下電器貿易(株)入社。1983年より労組委員長、98年まで(1988年に松下電器産業(株)と合併)労組の国際活動(海外勤務制度の改善、海外労組との連帯、国際ボランティア活動)に従事。CIS中近東アフリカ本部、コートジボワール松下電器社長(但し、クーデター勃発で事業継続困難になり撤退。)、イスタンブール松下電器駐在事務所長を歴任。欧州パナソニックマーケティング、OBP管理センター所長を経て、パナソニック海外安全対策室長就任。新型インフルエンザ対策の推進、海外での安全・リスクマネジメント、国際労働対策などのセミナーを開催。93カ国を訪問。2010年定年退職。

(社)日本在外企業協会(<http://www.joea.or.jp/>)

■永久 研二(ながひさ けんじ) コントロール・リスクス・グループ株式会社ディレクター



1988年早稲田大学法学部卒、同年英国ロイズ保険在日エージェントに入社し、国際商取引に関わる政治リスクヘッジ・コンサルティングを担当。その間に英国ロイズにおいて政治リスクヘッジ手法について学ぶ。1993年4月コントロール・リスクス・グループに入社。ロンドン本社での研修を経て東京事務所勤務。コントロール・リスクス・グループの危機管理手法を日本の民間企業や公的機関に紹介すると共に、顧客企業・組織の誘拐・脅迫等の有事に際し、コンサルタントとして本社対応に関する助言を提供。現在はコントロール・リスクス・グループの平時・有事の海外安全対策サービスの普及に努める傍ら、多くの企業や組織に対して、危機管理に関するセミナーや海外安全管理・有事対応システム構築のコンサルティングを行っている。

コントロール・リスクス社(<http://www.control-risks.com>)